

広告募集案内【企画提案募集】
(施設広告掲出仕様書)

横浜市民防災センターに広告を掲出する事業者を以下のとおり募集します。

■募集概要

<p>名 称</p>	<p>広告付き煙体験コーナーの改修 (横浜市民防災センター「煙体験コーナー(仮称)」エリア防災パートナーの募集)</p>
<p>事業の背景</p>	<p>火災による死因の多くが、火傷とともに一酸化炭素による中毒・窒息が占めています。無色・無臭でその存在が感知しにくく強い毒性を持っている一酸化炭素の怖さを伝え、早期避難に繋げていく必要があります。</p> <p>本事業は、民間企業との連携を通じて、横浜市民防災センターに現在設置している煙体験コーナーでの新たな啓発を推進し、火災予防及び災害に対する自助・共助の意識の向上を目指すものです。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>SDGsの視点</p> <p>この事業に取り組むことで、次の目標の達成につながると考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 11 住み続けられるまちづくりを 13 気候変動に具体的な対策を 17 パートナーシップで目標を達成しよう <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> </div>
<p>内 容</p>	<p>横浜市民防災センター2階、煙体験コーナーがある場所にモニター等による映像やプロジェクションマッピング等を利用した、一酸化炭素の成分紹介および早期避難の重要性を啓発するコンテンツを追加していただく事業です。煙体験コーナーの内容詳細は別添資料をご確認ください。</p> <p>広告掲出可能箇所にて設置事業者様の事業紹介を発信いただけるほか、煙体験コーナーの名称の一部に、広告事業のメリットの一環として、設置事業者様の企業名を掲載することができます。なお、市民防災センターの館内を紹介するパンフレット(学習ノート)やホームページの案内に記載します。</p> <p>事業の実施に係る費用(既設設備の撤去費※、新設備の設置費(設置後に伴うメンテナンス、故障による交換費用含む)、新コーナー名を付した看板、広告の表示面積に対する目的外使用料)を全て負担していただきます。なお、新設備の完成後に、火災対策等の啓発を行うためのコンテンツを横浜市側で追加・改修を行う場合があります。</p> <p>なお、製作物の財産権は設置事業者様に帰属します。</p> <p>※ 設置にあたり、現在防災啓発を行っているパネルの撤去が必要な場合。パネルの数量、規格は下記のとおりです。</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;">  </div> <div style="flex: 1; border-left: 1px solid black; padding-left: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ①縦 80 cm×横 80 cm ②縦 50 cm×横 50 cm ③縦 35 cm×横 35 cm ④縦 80 cm×横 80 cm </div> </div>
<p>施設所在地(場所)</p>	<p>横浜市神奈川区沢渡4-7</p>

施設の利用者数・利用者層	<p>様々な世代の方々が自助・共助の重要性を学ぶため訪れています。</p> <p><参考></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口： 約 377 万人 ・年間来場者数： 約 8 万 1 千人（令和 6 年度実績） <p>うち、防災センター主催イベント（年 4 回開催）： 3,000～8,000 名/回</p>
設置場所	<p>横浜市民防災センター2階 煙体験コーナーを設置している箇所 約 20 m²</p>
広告掲出可能スペース	<p>「新設エリア設置物製作場所・広告掲出場所等の横浜市民防災センター2階平面図」をご参照ください。</p>
広告掲出期間	<p>令和8年4月1日～令和9年3月 31 日※</p>
	<p>※横浜市と合意のうえ、令和 18 年3月 31 日まで1年単位で継続が出来ます。 ※全ての期間で1年ごとに使用許可を受けていただく必要があります。 （「広告掲出にあたっての留意点」参照）</p>

■ 申込み、選定のスケジュール

申込期間	令和7年7月 30 日(水)～令和7年8月 15 日(金)
提案内容評価	令和7年8月 28 日(木)午前中(予定)
	提案内容評価においては、申込者に対するヒアリングを行います。 時間、場所等の詳細については、後日お知らせします。
選定結果通知	令和7年9月中旬(予定)

■ 申込手続

申込条件	広告代理店・広告主どちらも可
申込方法	令和7年8月 15 日(金)午後5時 00 分までに、広告企画書を下記申込み・お問合せ先まで持参、郵送、電子メールまたはFAX等でご提出ください。
広告企画書 記載事項	<ol style="list-style-type: none"> (1) 市にとっての経費縮減効果(展示エリア製作にかかる費用)及びその算出根拠 (2) 一酸化炭素への注意喚起等の表現方法 (3) 設置物の仕様及び広告の仕様・運用・管理計画 (4) 広告の規模及び表示内容 (5) 類似展示案件での実績 (6) 提案企業の防災に対する先進的な取り組み内容 (7) 緊急時の対応 (8) その他(行政サービスの向上につながるご提案等)

次頁あり

■ 広告掲出にあたっての留意点

<p>広告の条件</p>	<p>広告内に「広告」である旨を明記するなど、施設の利用者等が見て、広告であることが明らかとなるような措置を施してください。 横浜市広告掲載要綱、横浜市広告掲載基準、行政財産等への屋外広告掲出ガイドライン、その他の広告関連規程を遵守してください。</p>
<p>広告の制作等</p>	<p>掲出 1 か月前までに広告原稿を提出し、上記条件について広告内容の審査を受けてください。 広告掲載基準等に基づき、広告内容等の修正をお願いする場合があります。あらかじめご了承ください。 上記の期限までにご提出いただけない場合には、広告の掲出が遅れる場合又は広告が掲出できない場合があります。 広告等の制作、設置、撤去等の作業は、広告掲出事業者の費用負担により行ってください。</p>
<p>財産の使用許可</p>	<p>広告を掲出する箇所について、横浜市公有財産規則の規定に基づく使用許可を受けていただき、使用許可に係る使用料をお支払いいただく必要があります。 【参考】月額 建物の壁面(内壁)に広告を表示する場合 1,000 円/㎡(表示面積) 建物内にパンフレットスタンドを設置する場合 1,550 円/1台(台数)</p>
<p>その他</p>	<p>広告掲出にあたり、モニターの使用等、電気料金が発生する場合には、別途電気使用料金を徴収いたします。</p>

■ 消防局が行う事業 PR 及び特典について

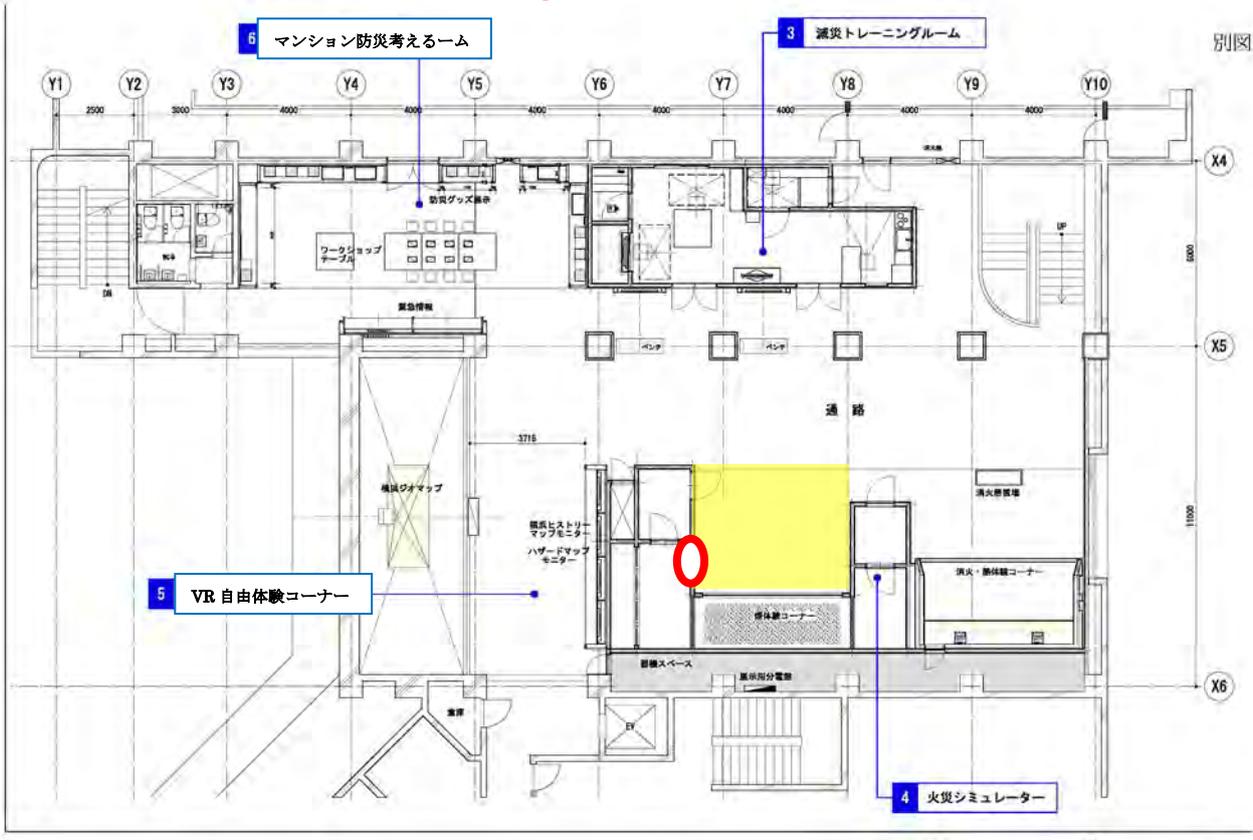
<p>事業PR</p>	<p>(1) 横浜市民防災センターホームページ内においてパートナー企業の紹介 (実施企業がニュースリリース等した際にリンク付けします。) (2) 防災センターの紹介パンフレットに企業名の入ったエリア名の記載 (3) 防災センター内でパートナー企業の紹介</p>
<p>特典</p>	<p>(1) 横浜市民防災センターの休館日に特別体験ツアーの実施(年1回) (2) パートナー企業認定証授与</p>

次頁あり

■新設エリア設置物製作場所・広告掲出場所等

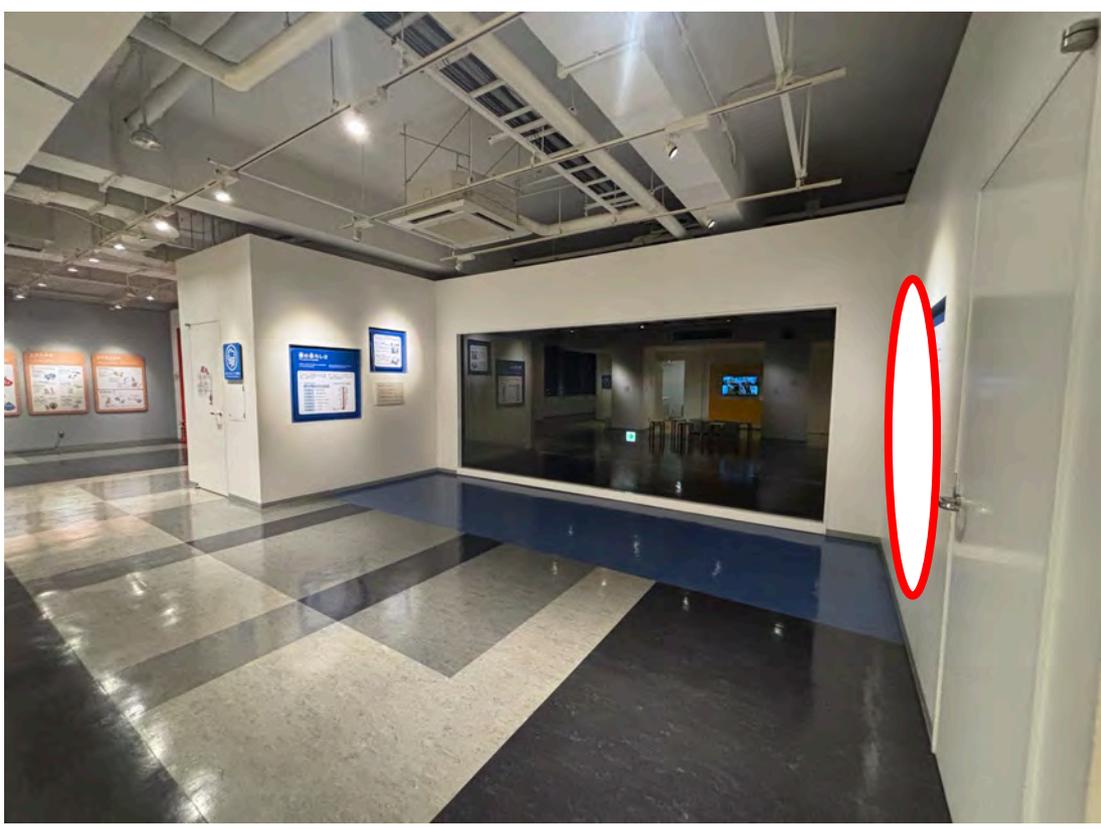
横浜市民防災センター2階平面図

○…広告掲出箇所(案)



2階展示室 1/100 A-03

現在の様子



■選定手続

<p>評価項目・評価基準</p>	<p>(1) 市にとっての経費縮減効果(展示エリア製作にかかる費用)及びその算出根拠 (2) 限られた製作場所で最大限の展示が出来る工夫があるか。 (3) 一酸化炭素の性質や早期避難の重要性を十分理解し、没入感のある工夫がされているか。 (4) 障害者に配慮した取組があるか。 (5) SDGs への取り組みがあるか。また、本事業における具体的な取り組みがあるか。 (6) 利用者にとって防災について理解しやすい展示がされているか。(案内表示の内容がシンプルなものか。)外国籍への対応は可能か。(英語、中国語、韓国語、やさしい日本語※)。 ※やさしい日本語とは、「横浜市多言語広報方針」に基づき、日本語情報に「平仮名のルビ」を付すとともに、平易でわかりやすい表現による要約を添えて情報提供を行う際に使用するものです。横浜市では、『「やさしい日本語」で伝える 分かりやすく 伝わりやすい日本語を目指して』(第4版)において基準を設けています。当該基準は、横浜市ホームページに掲載されています↓ URL : https://www.city.yokohama.lg.jp/lang/residents/ej/daiji/kijun.html (7) 設置物の仕様、広告掲出箇所の仕様・運用・管理計画について、既存の消防設備を含めて破損や倒壊、盗難等の恐れがない構造となっており、安全性が担保されているか。 (8) 設置物の面積比率、または表示面積が、目的を満たすための十分な啓発スペースとして確保されているか。 (9) 類似展示案件における実績(過去の実績) (10) 提案企業の防災に対する先進的な取り組み内容 (11) その他、行政サービスの向上につながる提案等があるか。</p>
<p>評価方法</p>	<p>消防局に設置する広告事業選考会において、広告企画書に記載された提案内容を、上記評価項目に従い、事前に定めた採点方法等により総合的に評価します。 評価の結果、最も優れた提案を行った申込者を掲載予定者(広告掲出事業者)として選定し、広告掲出についての交渉を行います。 ※申込者が1者であった場合にも、最低基準を満たすことについての評価を行います。最低基準を満たす提案がない場合は、再度募集を行います。 ※評価の結果、同点となった場合は、消防局広告事業選考会で再度審議のうえ、決定いたします。</p>

■申込み・お問合わせ先

<p>担当課名</p>	<p>横浜市消防局予防部横浜市民防災センター</p>
<p>所在地</p>	<p>横浜市神奈川区沢渡4-7</p>
<p>TEL/FAX</p>	<p>TEL 045-312-0119 /FAX 045-312-0386</p>
<p>Eメール</p>	<p>e-mail sy-shiminbosai@city.yokohama.lg.jp</p>

煙体験コーナー内容詳細

■現状の体験内容

体験時間 7分

(1) 煙の噴出

煙の特性、歩行時の注意点の説明 4分

(2) 通過体験

煙が充満した中を通過体験 1分

(3) まとめ

体験時の様子を確認し、更にアドバイスの実施 2分

■新コンテンツの追加希望内容

(1) 煙の噴出時間に合わせて、モニター、プロジェクターを使用して一酸化炭素の性質や危険性を周知し、早期避難の重要性を伝える。

(2) 壁等に新たな啓発パネル等を設置し、稼働時間以外でも学べる工夫の実施